



地域と創る冬みち事業!

～地域ごとに除雪を話し合う市民懇談会～

札幌市では、平成18年から地域の皆さんと協働で、より効果的・効率的な雪対策の確立を目的として、町内会などを対象に、市民懇談会を通して除雪の問題点を一緒に考える「地域と創る冬みち事業」に取り組んでいます。南区ではこの市民懇談会を、今年度までに34町内会で開催しています。

昨年9月に開催した、13町内会との市民懇談会の様子から「地域と創る冬みち事業」を紹介します

今年の市民懇談会で整理・検討された問題点をいくつか紹介します。



【問題点の整理・検討の例】

○路上駐車対策を!

札幌市だけでなく、町内会も「路上駐車禁止」の呼び掛けに取り組んでいきたい。

○公共用地を利用したい!

公園・河川敷地などの土地利用は、地域で利用に合意し管理者との条件を整えば、町内会と市で覚書を交わし、一定のルールのもとで利用することができます。

○歩道と車道の除雪方法を変更できないか?

状況に応じて歩道除雪の代わりに、車道を広く除雪するなど、地域と相談しながら対応していきます。

○通学路の安全確保のため交差点の排雪を!

札幌市が対応する交差点の排雪は、小学校と協力しながら努力をしていきます。

今年、通学路の交差点の雪を、一部学校のグラウンドに置くことに協力する石山東小学校。校長先生に話を聞きました。



石山東小学校校長
やまむろ たかゆき
山室 隆幸さん



石山東小学校のグラウンドは、多少の雪を運び入れても、他の利用や雪解け時にもあまり影響がないくらいの広さがあります。そこで、子どもたちの安全のため、いつも熱心に学校に協力を惜しまない地域の方々のためになるならと、雪置場として協力することにしました。今年学校にできるスキー山以外の新たな雪山。子どもたちには、この雪山を見て、雪国札幌で暮らす自分たちの生活や地域、環境のことなど、いろいろなことを考えたり感じたりしてほしいと思っています。

市民懇談会はこのように行われます。



1. 全体討議



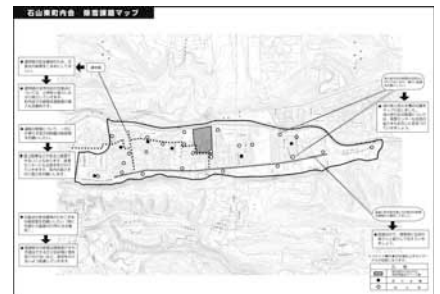
札幌市の除雪の現状について説明。その後、除雪全般について全体討議を行います。

2. 地域ごとに課題の洗い出しと検討



グループごとに地域の除雪に関する課題を洗い出して地図にまとめ、問題点の整理・検討を行います。

3. 地域と創る冬みち通信で情報を共有



市民懇談会の内容をまとめた「地域と創る冬みち通信」を発行。町内会・除雪業者・札幌市がそれぞれ情報を共有します。



(冬を迎えて除雪を実施)

実施した効果の確認および検証を行います